

地方創生ストリートミーティング【移住定住若者編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	回答・対応方針		担当課
		市長当日回答（要約）	各課回答・対応方針	
1	鹿野に住んでいるが車を持っていないため公共交通機関を利用している。アクセスが悪く、昼間に鹿野～浜村間のバス、浜村～鳥取間の汽車がない時間が2時間程度あるので、改善を望む。	利用されないから便がない、便がないから利用しないといった悪循環がある。地域によってはNPOが小型バスの運行している。大きな課題と考えており、解決に取り組まないといけない。	鹿野地域において、公共交通の便の悪いところが生じていることは認識しており、今後も利用しやすいバスダイヤへの改正やデマンド便、乗合タクシーの導入について検討してまいります。 なお、浜村～鹿野間は日ノ丸自動車線が運行する鹿野線のほか、市が運行する気高循環バスも一回200円で利用できますので、ご利用ください。 また、列車については、おおむね1時間に1本程度運行されておりますが、引き続き利用しやすいダイヤとなるよう要望してまいります。	交通政策課
2	鳥取では車がないと生活が難しい。移住者への車の貸し出しがあればよい。	智頭石油がカーシェアリングを行っている。	民間事業者がカーシェアリングやレンタカー事業を行っていますが、認知度が低いため、移住者や移住希望者へ積極的に紹介していくとともに、利用者に利用しやすいものになっているか、事業者への働きかけなども含め利用を促したいと考えます。	地域振興課
3	中心市街地に空き店舗が多い。上手く活用しては。また、行きたくなるような店がない。	行政だけでは難しいため、民間と連携を図りながら検討してみたい。	本市では、空き家、空き店舗などの遊休不動産をリノベーション手法により再生し、まちの魅力を高める「リノベーションまちづくり」を推進しています。この取組は、民間主導で行っており、民間まちづくり会社等が主体となり、まちの魅力向上につながる様々なアイデアの中から事業計画をつくり、実事業化していきます。行政はこの取組が定着するよう計画策定、人材育成等に取り組んでいきます。 また、まちの景観やイメージを損なう空き店舗の解消を推進するため、鳥取市中心市街地活性化協議会に「商店街テナントマッチング事業」を委託し、空き店舗調査、活用方策検討、出店者掘り起こし等を行っています。特に昨年度は、託児や健康づくり教室等を行うコミュニティ施設をはじめ、カフェ、ゲストハウスなど、空き店舗を活用した事業がスタートしています。今後も中心市街地商店街の魅力向上や活性化に取り組んでいきます。	中心市街地整備課 経済・雇用戦略課

地方創生ストリートミーティング【移住定住若者編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	回答・対応方針		担当課
		市長当日回答（要約）	各課回答・対応方針	
4	公共交通機関を利用して来られる客層をターゲットに鳥取駅前に店舗を構えた。しかし、鳥取は車社会のため駐車場がないと客の増加は難しい。店で駐車場を借りるには費用がかかる。公共の駐車場であれば利用料が安価なので、客も利用しやすいと思う。市で市街地に公共駐車場の整備ができないか。	公共駐車場の設置については、民業圧迫とならないことが必要。新庁舎への移転を見据えながら検討していきたい。	公共駐車場の設置については、今後の需要など必要性を十分精査し、民間駐車場の運営状況等を踏まえた上で、検討を行っていきたいと考えます。	中心市街地整備課
5	移住して頼る人もいない中で、子どもが病気になった時に預けられるのは病児・病後児保育施設である。しかし、利用したくても一杯でなかなか利用できない。施設を増やして欲しい。	病児・病後児保育施設の充実を図っていくことは課題。繁忙期と閑散期の差がありバランスが難しい。徐々に定数を増やしている。	昨年度、病児保育施設「せいきょう子どもクリニック」の定員を4名から7名に拡充するとともに、新たに「病児保育施設とくよし」（定員4名）の開設を行いました。しかし、病児・病後児保育に対する保護者のニーズは依然として高く、今後は施設の利用状況の推移を見ながら、更なる拡充についても検討してまいります。	児童家庭課
6	移住者への支援として、医療費を無料にしてほしい。それくらいやらないと、PRIにならない。	無料では制度が成り立たなくなる。今年度から特別医療の対象を、中学生までだったものを高校生までに拡大した。	移住の誘因として医療費を無料にすることは、治療目的の移住促進につながりかねず、財政負担の増大を招く恐れがあります。また、年金生活者や低所得層の方にも3割の自己負担をいただいている中で、移住者に限定した医療費の無料化は、市民の理解が得られ難く、社会保障制度が成り立たなくなります。本市は、広く多くの方に利用していただける制度として、小児医療の高校生までの対象拡大等で他都市との差別化を図っており、移住者の医療費無料化は困難です。	保険年金課
7	画家をしている。アトリエ（制作場所）はたくさんあるが、展示場があればうれしい。	個人ギャラリーがあるので活用いただきたい。	鳥取市にはたくさんのギャラリーがあります。鳥取市のホームページに市内のギャラリー情報を掲載していますのでご活用ください。 ※トップページ⇒くらしと環境⇒交通・生活・文化・住宅⇒文化・芸術⇒鳥取市内のギャラリー情報をご覧ください。	文化交流課

地方創生ストリートミーティング【移住定住若者編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	回答・対応方針		担当課
		市長当日回答（要約）	各課回答・対応方針	
8	ととりのまんま（大阪）へ商品を出品している。鳥取と同じように売っても売れない。パッケージ、量、見せ方等の工夫が必要。	大阪の人が求めているものは、鳥取とは違うと感じた。売り方を考えることも必要と感じた。	引き続き、都会での消費者ニーズをしっかりと把握しながら、より多くの地元産品を購入いただけるよう、販売方法の改善、商品力の向上に努めてまいります。	政策企画課
9	都市部での鳥取市の知名度は低い。鳥取大丸で開催している「北海道展」の鳥取版（鳥取展）を都市部で開催し、もっとPRしてみてはどうか。	これまでシティーセールスが弱かった。大阪のととりのまんまを移転拡張し、これまで以上に本市をPRしていく。	本年4/4～4/25までの間、大阪市の阪急梅田駅で鳥取市物産展「すなばからのおくりもの展 阪急梅田店」を開催し、好評を博しました。 今後も、関係機関と連携し、都市部で本市の魅力や価値を発信することにより、イメージアップや販路拡大を図り、更なるシティーセールスにつなげてまいります。	広報室